

子どもを社長にする子育ての極意(第3回)

日本最大級不動産サイトを育てた井上高志氏(前編)

2016.02.08

経営者の育てられ方から子育ての極意を学ぶ連載。今回、取り上げるのはネクストの井上高志社長です。引っ込み思案だった少年をベンチャー企業の社長へと導いた母の見守り方を学びます。

ネクスト社長・井上高志の場合



(写真/菊池一郎) 井上高志(いのうえ・たかし)

1968年生まれ。青山学院大学を卒業後、リクルートコスモス(現・コスモスイニシア)、リクルートを経て、95年に創業。97年ネクストを設立。「HOME'S(ホームズ)」を日本最大級の不動産・住宅情報サイトに育て上げた。

自分はどうして経営者になったのだろう。父親はごく普通のサラリーマンで、母親は専業主婦。親戚を見渡しても、自分以外には誰一人、事業家がない。井上高志はネクストを創業後、「突然変異」が起こった理由をずっと考えていた。

1968年、横浜に生まれた井上は、青山学院大学4年のときに起業を決意した。「会社勤めは起業のための修業。5年以内に独立する」というプラン通り、リクルートコスモス(現コスモスイニシア)を経て転籍したリクルートを、社会人5年目で退社。95年にネクストの前身となる会社を立ち上げる。そうして不動産・住宅情報サイト「HOME'S(ホームズ)」を、業界最大規模に育て上げた。

自己肯定感が低い少年時代

一般に、創業経営者には子どもの頃からその片鱗が見られることが多い。人一倍アグレッシブであったり、人を引きつけるリーダーシップがあったり。しかし、井上の場合には違った。引っ込み思案で、自己肯定感が低い少年だったという。



※写真はイメージです

「当時は学年で身長が一番低く、『チビ』とからかわれていました。腹は立つのですが、面と向かって言い返すほどの強さはないので、いつも笑ってごまかすだけ。しかも5歳上に姉、1歳上に兄がいて、この兄がすごく勉強ができた。一応自分も頑

張るのだけど、兄には追いつけない。常に私の一歩先を走っている、目の上のたんこぶのよう存在でしたね。そんな子ども時代だったから、なかなか自分に自信が持てなかったんです。将来はこんな大人になりたいという夢もない。『高志』という名前に完全に負けているな、俺は『低志(ひくし)』だと、自虐的に思っていました」… 続きを読む